

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

公益社団法人けいしん神奈川

②施設・事業所情報

名称：川崎市白山保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：佐藤 有紀子	定員（利用人数）： 120 名
所在地： 川崎市麻生区白山4-2-1	
TEL：044-987-7722	ホームページ： 川崎市麻生区：白山保育園 (city.kawasaki.jp)
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：昭和 61 年 4 月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：川崎市	
職員数	常勤職員 26 名 非常勤職員 15 名
専門職員	施設長 1 名
	子育て支援センターみなみゆりがお か（H23年） 1 名
	保育士・看護師 20 名
	用務員 2 名
	兼務栄養士 1 名
施設・設備 の概要	（居室数）保育室9室
	（設備等）事務室、医療的ケアスペース、教材室、トイレ、浴室、職員休憩室、給食室、地域支援室

③理念・基本方針

理念	・子どもたちの最善の利益を考慮し、福祉の積極的な増進を図る。
基本方針	・一人一人の子どもの情緒の安定を図り、健全な心身の発達を促していく。
	・園生活が子どもたちにとって豊かなものとなるよう、家庭や地域社会との連携を図り保育に当たる。
	・地域の子育て支援を積極的に遂行していく。

④施設・事業所の特徴的な取組

白山保育園は昭和61年4月に開園、定員120名の公立保育園です。小田急新百合ヶ丘駅からバスで10分、最寄りのバス停から徒歩4分の大規模集合住宅街の中に位置しています。隣接している「むじなが池公園」等緑や池の自然に恵まれており、昆虫や植物が多様で、戸外遊びや探索活動を通して自然に触れる機会を保育に活かしているのが当園の大きな特色です。また近隣の集合住宅街の有志で構成している見守り隊が温かく見守ってくれる等地域との交流も盛んです。具体的な特徴的な取り組みは以下の通りです。
①麻生区のセンター園として産休明け保育、医療的ケアが必要な児童の受け入れを行い、地域の子育て支援、公・民保育所の人材育成を担い、保育の質の向上を目指していくための取組を行っています。
②戸外でのびのびと遊ぶことを中心にして、散歩やリズム活動、荒馬などに取り組みしなやかな体作りに力を入れています。
③自然豊かな環境を活かし、植物や昆虫、動物等生き物への興味と触れ合い、命の大切

さを伝えています。
④異年齢保育や多世代間交流を通して、人とのふれあいや相手を思いやる心をはぐくむことを大切にしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年9月16日（契約日）～ 令和3年1月29日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（平成17、22、27年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

■麻生区のセンター園として地域に根差した保育園を目指しています。
麻生区のセンター園として産休明け保育や医療的ケアを必要とする児童の受入れを行っているのが特色です。
地域の拠点園として麻生区保育総合支援担当と連携し、地域全体の子育て支援の情報発信、民間保育園との連携促進、公・民保育人材の育成に積極的に取り組んでいます。公開保育、交流保育を通し民間保育園の職員との連携を図り、互いに保育技術の向上に向けて学び合い、保育の質の向上につなげています。
園の周辺は閑静な集合住宅街で高齢者も多く、老人福祉施設との交流、地元見守り隊等との多世代間交流を通して相手を思いやる心を育てています。

■全職員のチームワークで保護者との信頼を深めています。
園長は職員一人ひとりの姿を熟知し、その職員に合った的確なアドバイスができています。職員面談でも職員からの信頼度は高いことが窺えます。個人相談は保護者の思いを受け止め、寄り添う気持ちで対応し、子どもの成長を共感するよう全職員が努めています。職員間のチームワークは良好であり、園全体で子どもを見守る体制ができています。担任だけで悩まず、他の職員が親身になってフォローし、互いに保育の質を高め合えるよう努めています。今回実施した利用者家族アンケートでは総合的な満足は高く、全職員が保護者との絆を深めている様子が窺えます。

■自然豊かな環境と広い園庭で、心も体も元気な子どもに育てています。
しなやかな身体をつくる保育を目指して、散歩やリズム遊び、園の特徴である荒馬を取り入れながら体の使い方や楽しみ方を年齢に合わせて行っています。園庭が広いのも当園の特色です。鬼ごっこやドッチボール、砂場遊びを思いっきり楽しみ、活発に身体を動かしています。自然の中での探索活動にも熱心に取り組んでいます。昆虫や植物の発見や驚き、喜びを子どもと共感しながらドキドキワクワクの毎日です。

◇改善を求められる点

■「保育について語る」時間を捻出し更に質の高い保育を期待しています。
「保育の質ガイドブック」を活用し、保育を語れる職員集団を目指して検討会議を進めています。現状はコロナ禍も相まって、十分な時間を捻出することが難しい状況にあります。ピンチをチャンスと捉え、これまでの慣習にとらわれない発想や仕事の見直しを通して経営改善、実効性の向上を図り、明日の保育に向かってより一層質の高い「保育を語れる白山保育園」になることを期待しています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審するにあたり、職員全員がすべての評価項目に沿って自分と保育園の状況の振り返りを行いました。それを基に会議で意見を出し合い検討する時間を持ったことで、それぞれの思いや考えを知ることができ、日々の保育の見直しをする機会となりました。また自園の良い点、課題点が明らかになり職員全体で共有できたことで、良い点を継続しながらさらに向上させること、課題点をどのように改善していくのか、方向性が確認できたこともよかったと考えています。

保護者アンケートにも多くの方から回答を頂き、園運営に関心を持っていただいていることを実感いたしました。今後さらに保護者の方に信頼していただけるよう努力していきたいと思えます。

総評として「明日の保育に向かってより一層質の高い『保育を語れる白山保育園』になることを期待しています」という言葉が大変励みとなりました。これからも子ども、保護者、職員みんなの笑顔があふれる白山保育園となるよう、職員全員でさらに頑張ろうと思えます。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり